

# 第2学年生活科学学習指導案

2年1組 24名

## 1 単元名 「あしたへジャンプ」

### 2 単元の目標

- 自分の成長に着目して、自分の生活や成長とそれを支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、大きくなって役割が増えたことなどに気付き、アルバムにまとめる。
- 自分の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活する。

### 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○自分自身の成長に関心を持ち、多くの人々の支えによって自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への存在に気付いている。	○自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、成長の喜びや、生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを表現している。	○友達や自分自身の生活や成長を支えた人々に主体的に働きかけ、意欲的に学習を進めたり、これからの成長への願いをもって意欲的に生活したりしている。

### 4 単元について

本単元では、入学してから現在までにあったことや、自分自身の成長や成長にかかわってくれた人々のことを振り返る活動が中心となる。そして、自分の成長を実感したり、3年生に向けて頑張りたいことややってみたいことを見付け、これからの成長への意欲がもてるようにしたりすることが目標となる。

また、自分自身の生活や成長を支えてくれた人々にインタビューをしたり、それを作品にまとめたりすることで、自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどに気付いたり、実感をもつことができるようにする。さらに、自分自身の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを直接伝える場を設定し、達成感をもって進級できるようにしたい。

本単元の学習では、国語科で習得した技能を活用するとともに、伝えたいことを分かりやすく構成したり、書いたりする力の定着を図りたい。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 学年が上がることに対する意欲を高めるために、家族にインタビューをして、自分の成長を確認できるようにし、成長を支えてくれた周りの人々への感謝の気持ちを伝える「ありがとう はっぴょう会」を設定する。また、活動に対する必然性をもたせ、意欲を高めていく。

#### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

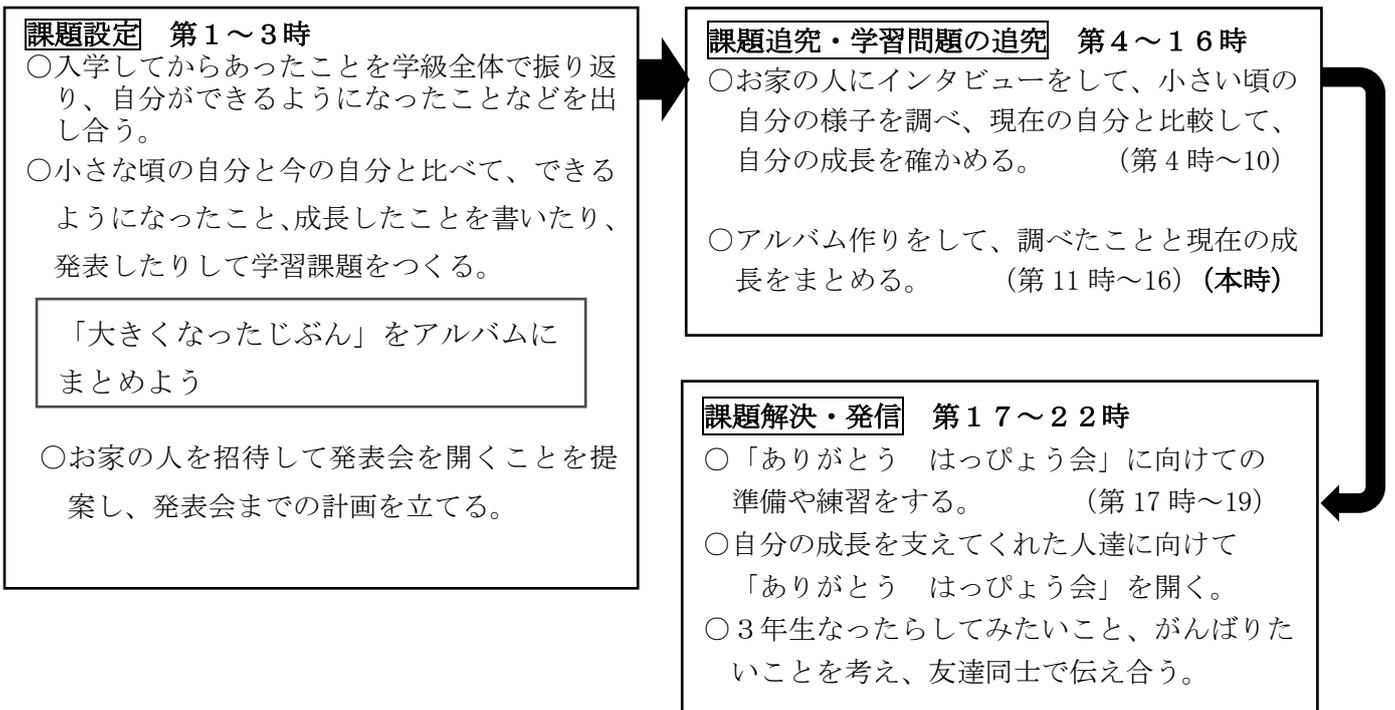
#### 付箋やカードの使い方

- ・「したこと」「思ったこと」「友達がしたこと、おもったこと」を色違いの付箋やカードに分けて書き出す。
- ・書くことを整理し、まとまりにする。

#### 文の組み立て方

- ・「はじめ」に何を伝えたいのか書く。
- ・「中」に伝えたいものや出来事を書く。
- ・「おわり」にまとめの言葉を書く。

## 6 指導計画



## 7 本時について (13 / 22)

### (1) 本時の目標

国語の既習事項を生かして、調べたことや自分の成長をアルバムに分かりやすくまとめることができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
<p>○1枚目の原稿の振り返りをする。</p> <p>○本時のめあてを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「はじめ」「中」「おわり」を考えて、しらべたことと、じぶんがせいちょうしたことをまとめよう</p> </div>	<p>◇学習の見通しがもてるよう、書き方を確認する。</p> <p>◇調べたことと自分の成長を対比させることを再確認する。</p>
<p>○エピソードごとに調べたことと自分の成長を文章にまとめる。</p> <p>○文にあった写真や絵を選んで添付する。</p> <p>○次に取り上げるエピソードをまとめ、次時の学習を確かめる。</p>	<p>◇できるようになったことや、成長を感じることを1つずつのエピソードにまとめることを確認する。</p> <p>◎文の組み立て方を明示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」に何を伝えたいのか書く。</li> <li>・「中」に伝えたいものや出来事を書く。</li> <li>・「おわり」にまとめの言葉を書く。</li> </ul> </div> <p>☆国語の既習事項を生かして、調べたことや自分の成長をわかりやすくアルバムにまとめている。</p> <p>◇写真や絵の大きさや配置が適切になるよう助言する。</p> <p>◇最大6つ、最低3つのエピソードをまとめるよう具体的な数を示し、活動の見通しがもてるようにする。</p>

# 第2学年生活科学学習指導案

2年2組 25名

## 1 単元名 「あしたへジャンプ」

### 2 単元の目標

- 自分の成長に着目して、自分の生活や成長とそれを支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、大きくなって役割が増えたことなどに気づき、アルバムにまとめる。
- 自分の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活する。

### 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○自分自身の成長に関心をもち、多くの人々の支えによって自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への存在に気付いている。	○自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、成長の喜びや、生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを表現している。	○友達や自分自身の生活や成長を支えた人々に主体的に働きかけ、意欲的に学習を進めたり、これからの成長への願いをもって意欲的に生活したりしている。

### 4 単元について

本単元では、入学してから現在までにあったことや、自分自身の成長や成長にかかわってくれた人々のことを振り返る活動が中心となる。そして、自分の成長を実感したり、3年生に向けて頑張りたいことややってみたいことを見付け、これからの成長への意欲がもてるようにしたりすることが目標となる。

また、自分自身の生活や成長を支えてくれた人々にインタビューをしたり、それを作品にまとめたりすることで、自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどに気付いたり、実感をもったりすることができるようにする。さらに、自分自身の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを直接伝える場を設定し、達成感をもって進級できるようにしたい。

本単元の学習では、国語科で習得した技能を活用するとともに、伝えたいことを分かりやすく構成したり、書いたりする力の定着を図りたい。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 自分の成長を確認するために家族にインタビューをし、それをまとめてアルバムを作る。そして成長を支えてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちを「ありがとう はっぴょう会」で伝える。さらに学年が上がることに對する意欲を高める。これらの流れを事前につかませることで、学習に対する見通しが持てるようにするとともに、活動に対する必然性をもたせ、意欲を高めていく。

#### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

#### 付箋やカードの使い方

- ・「したこと」「思ったこと」「友達がしたこと、おもったこと」を色違いの付箋やカードに分けて書き出す。
- ・書くことを整理し、まとまりにする。

#### 文の組み立て方

- ・「はじめ」に何を伝えたいのか書く。
- ・「中」に伝えたいものや出来事を書く。
- ・「おわり」にまとめの言葉を書く。

## 6 指導計画

### 課題設定 第1～3時

- 入学してからあったことを学級全体で振り返り、自分ができるようになったことなどを出し合う。
- 小さな頃の自分と今の自分と比べて、できるようになったこと、成長したことを書いたり、発表したりして学習課題をつくる。

大きくなったじぶんをアルバムにまとめよう

- お家の人を招待して発表会を開くことを提案し、発表会までの計画を立てる。

### 課題追究・学習問題の追究 第4～16時

- お家の人にインタビューをして、小さい頃の自分の様子を調べ、現在の自分と比較して、自分の成長を確かめる。(第4時～10)

- アルバム作りをして、調べたことと現在の成長をまとめる。(第11時～16) (本時)

### 課題解決・発信 第17～22時

- 「ありがとう はっぴょう会」に向けての準備や練習をする。(第17時～19)
- 自分の成長を支えてくれた人達に向けて「ありがとう はっぴょう会」を開く。
- 3年生になったらしてみたいこと、がんばりたいことを考え、友達同士で伝え合う。

## 7 本時について (11 / 22)

### (1) 本時の目標

自分の成長を友達や家族に伝えるのに適している内容を選び、アルバムにまとめる意欲をもつことができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○学習計画を見ながら、本時のめあてを確認する。	◇ 学習計画表を活用し、本時のめあてを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">友達や家族に伝えたいことを選ぼう</div>	
○自分の成長を友達や家族に伝える内容を選ぶ。	◇内容ごとに色を変え、付箋を用意する。 ・経験したこと (黄色) ・思ったこと (ピンク) ・友だちがしたこと、言ったこと (青)
○文章の構成を考え、話し合う。 「はじめ」「中」「終わり」	◎モデル文 (構成表) を提示し、やり方や完成のイメージをもてるようにする。 ◎付箋を構成表に貼りながら、文章の組み立てを考えることができるようにする。 ◎書くことの技能 (既習事項) を掲示し、見て確かめられるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">組み立てを考えて書く ・「はじめ」に、何を伝えたいかを書く。 ・「中」に、伝えたいことを、くわしく書く。 ・「おわり」にまとめのことばを書く。</div>
○本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	☆国語の既習事項を生かして、調べたことや自分の成長をアルバムにまとめる意欲がもてている。 ◇本時と同じ手順で、友達や家族に伝える内容を文に書くことを知らせ、学習の見通しがもてるようにする。

